

後期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました

保護者の皆様には、1月の後期「学校評価アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。

後期の学校評価では、保護者や教職員、学校運営協議会委員、児童生徒アンケートの結果を、前期の結果と比較して分析しました。保護者アンケートの結果を「保護者全体」と「学部別」で、教職員の結果は「教職員全体」として前期と後期とを比較できるように表にして掲載しています。

後期学校評価アンケートの自由記述欄でいただいたご意見も全て、全教職員に周知しております。また、分析結果を学校運営協議会委員の皆様にも報告します。皆様の貴重なご意見を、これからのお教育活動に生かし、課題解決に向けて取り組んで参ります。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

＜後期学校評価アンケート結果分析について＞

◎方法 各項目について「実現度」を5段階で回答。(児童生徒は実現度のみ)

◎回答率 * 1家庭に1枚配布

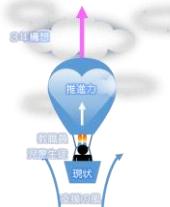
	保護者		児童生徒		教職員	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
回答数	153	156	108	86	123	133
回答率	80.0%	81.7%	55.0%	43.9%	98.0%	100%

◎表について

・実現度が上がった項目を■で着色し、5%以上下がった項目を□で囲って表示。

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために
個々の可能性を最大限に伸ばす



めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人 ○人を大切にし、共に生きる人 ○願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人 ○役割を担い、役に立とうとする人 ○挨拶をする人 ○ルールや約束を守る人

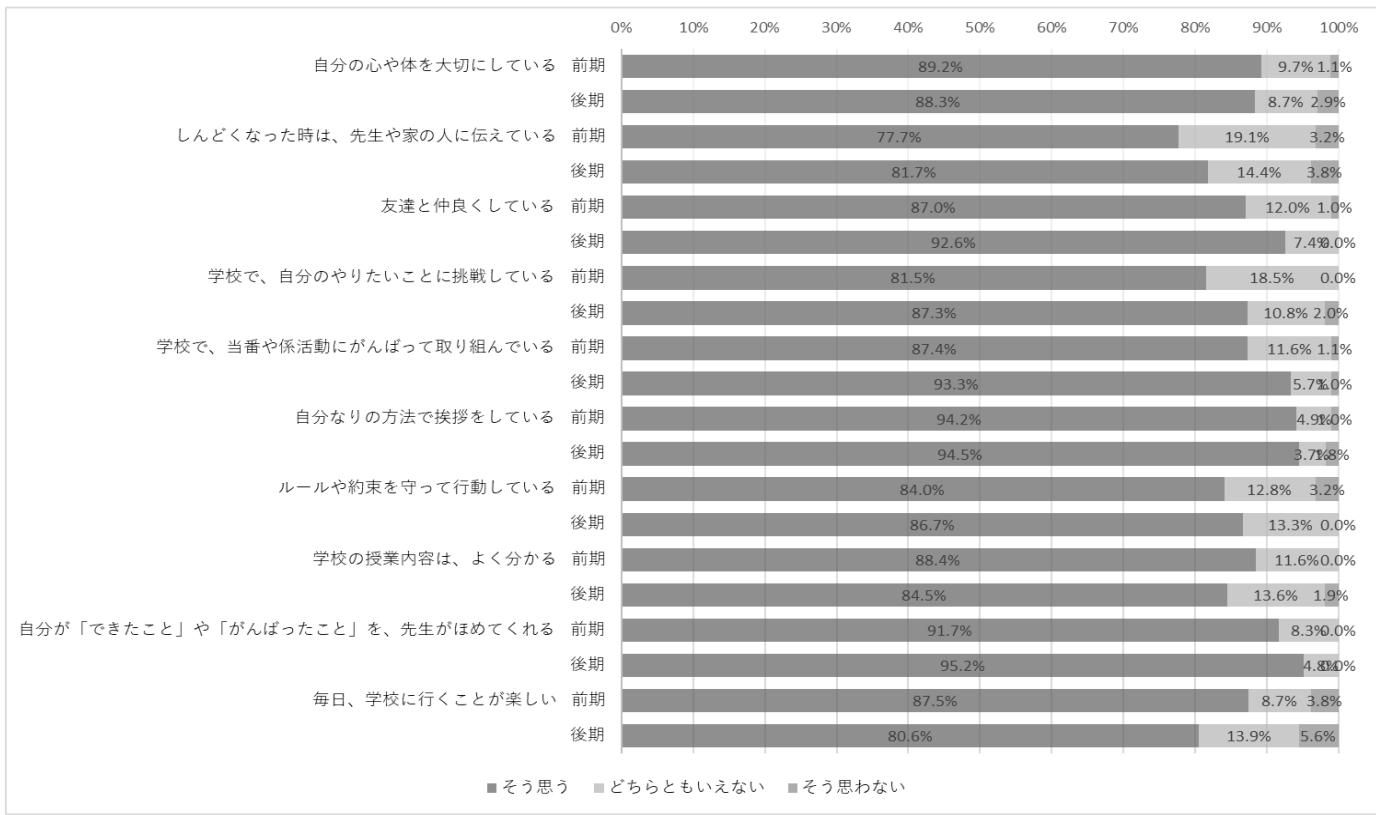
【表】

質問項目	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員	
	前期	後期								
◆自分の心や体を大切にする人口										
・学校は、健康維持や体力づくりに十分取り組んでいる	94.8%	100%	94.5%	100%	94.5%	91.3%	94.6%	91.3%	95.5%	87.3%
・学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む 等）	76.3%	92.3%	83.7%	91.7%	82.2%	85.7%	81.1%	85.7%	91.0%	92.3%
・児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている	78.9%	78.4%	72.9%	77.1%	76.7%	80.0%	76.4%	80.0%	92.3%	94.4%
・学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる（手洗いの励行、マスクの着用 等）	78.9%	94.9%	80.5%	85.7%	88.9%	91.4%	84.2%	91.4%	87.4%	94.4%

	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員	
	前期	後期								
◆人を大切にし、共に生きる人口										
・学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる (校内、地域 等)	92.1%	94.7%	94.6%	94.4%	90.4%	91.0%	91.9%	91.0%	82.2%	73.1%
・学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている	86.8%	87.2%	80.5%	77.8%	79.5%	82.4%	81.0%	82.4%	87.8%	88.6%
・児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している (校内、地域 等)	86.8%	94.9%	94.6%	88.9%	83.3%	75.7%	87.8%	75.7%	90.0%	81.0%
◆願いや夢に向かってすすむ人										
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している	100%	94.9%	94.6%	100%	87.7%	92.8%	92.5%	92.8%	94.4%	89.7%
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿の実現に向けて包括支援プランを作成している	100%	100%	100%	97.2%	97.2%	95.7%	98.6%	95.7%	97.7%	87.3%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている	78.4%	79.5%	83.8%	88.9%	88.9%	90.0%	84.9%	90.0%	93.3%	87.3%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている	81.0%	79.5%	72.9%	85.7%	90.4%	82.9%	83.7%	82.9%	86.6%	82.1%
・児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	86.5%	82.1%	78.3%	82.9%	79.5%	79.4%	81.0%	79.4%	88.9%	89.9%
◆負けない心をもってすすむ人										
・学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている	82.8%	86.8%	100%	94.1%	88.4%	88.1%	89.9%	88.1%	97.7%	94.9%
・児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている	85.7%	81.6%	88.3%	88.6%	85.5%	83.6%	86.2%	83.6%	94.4%	91.0%
◆役割を担い、役に立とうとする人										
・学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている	85.7%	97.4%	85.3%	93.8%	82.6%	87.9%	84.1%	87.9%	97.7%	96.2%
・児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している	76.5%	94.7%	79.4%	94.3%	73.9%	82.1%	75.9%	82.1%	97.7%	96.2%
◆挨拶をする人										
・学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる	85.7%	94.7%	88.2%	91.2%	86.9%	89.4%	87.0%	89.4%	97.7%	97.5%
・児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしている	85.7%	92.1%	79.4%	88.6%	89.9%	86.4%	86.2%	86.4%	97.7%	96.1%
◆ルールや約束を守る人										
・学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている	82.4%	84.2%	75.7%	82.9%	89.7%	84.8%	84.4%	84.8%	94.2%	93.7%
・児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している	76.5%	81.6%	64.7%	83.3%	79.7%	75.8%	75.2%	75.8%	94.0%	88.0%

	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員	
	前期	後期								
◆全体に関すること										
・学校は、児童生徒の健康・安全を守っている	91.4%	94.7%	97.1%	97.2%	98.5%	94.0%	96.4%	94.0%	97.4%	96.8%
・学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている	82.9%	94.7%	91.2%	97.1%	95.7%	91.0%	91.3%	91.0%	93.2%	92.7%
・学校は、授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒の指導や支援をしている	91.9%	97.4%	97.1%	100%	92.7%	89.7%	93.4%	89.7%	94.9%	87.3%
・学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている	100%	100%	100%	97.1%	91.3%	89.6%	95.7%	89.6%	96.6%	97.5%

[児童生徒アンケート回答率]



【アンケート結果分析】

(1) <自分の心や体を大切にする人>

「児童生徒が自分の心や体を大切にしようとする力」を育てるごとに課題が残った。
 引き続き、児童生徒一人一人が自分の心身に意識を向けて過ごせるよう
 児童生徒に応じて、丁寧に指導をしていく。

実現度の肯定的な回答（以下：実現度の回答）は、保護者全体（以下保護者）・教職員全体（以下教職員）共に前期より上がりしました。しかし、「児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている」の項目においては、小学部・中学部保護者は70%台と低い一方で、教職員は後期94.4%と高く、保護者との思いに差があることがわかりました。昨年度（令和元年度）の後期も、この項目は各部で低く、教職員が思うより児童生徒の姿として表れていないことが分かりました。今後も、児童生徒の心身の変化や、毎日の体調管理に心を配り、保護者と連携を取りながら、丁寧な指導ができるようにしていきたいと考えます。また、手洗いの励行やマスクの着用の他、うがい、手指消毒、検温など、感染症予防につながるよう、個々の児童生徒に応じた指導を引き続き行なっていきます。

(2) <人を大切にし、共に生きる人>

「今できること」を最大限に活かし、校内外の様々な人との触れ合いを通して、たくさんの経験を重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていく。

実現度の回答は、保護者・教職員共に前期より下がりました。この中で、「**学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる(校内、地域 等)**」の項目においては、保護者が91.0%であったのに対し、教職員は73.1%と全項目で最も低く、差が顕著になりました。また、「**児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している(校内、地域 等)**」の項目においては、小学部保護者の回答は前期より上がりましたが、保護者全体・教職員共に低くなりました。

本年度は校内外での活動が例年通りにできない状況が続き、本アンケートの回答時期が緊急事態宣言が発令されたことと重なったのも要因の一つと考えられます。いろいろな人と関わって、自分らしく活動できることは、卒業後の生活の中でとても大切な力となります。適切な距離感は保ちつつも、心の距離はより近く、校内外の様々な人の触れ合いを通して、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていきたいと考えます。

(3) <願いや夢に向かってすすむ人>

個別の包括支援プランを基に「児童生徒が、願いや夢に向かって生き生きと学習している」という姿を引き出す授業づくりができるよう、引き続き取り組んでいく。

実現度の回答は教職員が前期より下がりました。「**学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている**」の項目では、全学部・保護者全体の肯定的な回答が前期より上がりましたが、教職員は下がりました。立てた授業計画を見直しすべき状況が本年度にはあり、やりたかったことがやりきれなかつたのではないかと推測されます。どんな状況であれ、個別の包括支援プランを基に目指す姿や進路の実現に向けて授業を計画し、個々に応じた指導・支援を行うことは必要です。児童の願いや夢につながる得意なこと、好きなことをたくさん見つけられるような取組を行い、保護者の方と共有していきたいと思います。また、前期に引き続き「広がれ、学びのカタチ 大作戦！」の取組の中で多様な学習形態・学びの場を実践し、児童生徒の願いや夢を実現できるよう、学校と家庭・地域をつないだ学習環境づくりに取り組んでいきます。

(4) <負けない心をもってすすむ人>

児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう
機会を増やし、達成感を感じられる支援と授業づくりに取り組む。
学習や児童生徒の様子を、保護者に詳しく伝わるよう、懇談会の機会を生かす。

実現度の回答は、前期に比べて保護者・教職員共に下がりました。しかし、児童生徒アンケートでは、「学校で、自分のやりたいことに挑戦している」の項目において、「そう思う」の回答は93.3%で、前期より5.9%上りました。後期は学部毎にスポーツフェスティバルを行なったり、学校祭「文化の部」の発表を映像で行なったり、新たな取組がありました。今後も柔軟な発想で、今だからこそできる新しい活動に取り組んだり、挑戦したりする機会を増やしていきます。また、児童生徒の「やりたい」「やってみたい」という気持ちを引き出し、そして「できた」「最後まで頑張って良かった」と達成感を感じられるよう、ユニット会や授業担当者会を定期的に行い、授業内容や指導・支援方法について検討したことを学習に活かします。

(5) <役割を担い、役に立とうとする人>

児童生徒が様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している姿を共有するために、
授業の中で「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」をさらに充実させる。

実現度の回答は保護者は上がりましたが、教職員は下がりました。特に、「**児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している**」の項目において、保護者全体と教職員との差は11.8%あります。現状に満足することなく、今後も児童生徒がやりがいを感じて取り組めるよう努めていきます。

児童生徒アンケートでは「学校で、当番や係活動に頑張って取り組んでいる」の項目において、前期87.4%

から後期 93.3%に上りました。小学部では休み時間にゴミを捨てに行く、中学部では地域の学校や施設に学校だよりを届けに行く、高等部では地域の施設を清掃したり、リサイクル活動を行なったりする等、様々な場所での役割活動が定着してきています。今後も授業づくりの視点である「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」をさらに充実させ、その取組を保護者に明確に伝えていきたいと考えます。

(6) <挨拶をする人>

いつでも、どこでも、誰にでも、自分なりの方法で挨拶ができるよう
日々の様々な機会をとらえて実施する

実現度の回答は、保護者は上がりましたが、教職員は下がりました。「**学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる**」の項目において、全学部・保護者全体の肯定的な回答は上りました。児童生徒アンケートでは「自分なりの方法で挨拶をしている」の項目においては、94.5%と高い水準を保っていました。

校内では、高等部の生徒会を中心に「あいさつ運動」に自主的に取り組むなど、挨拶をする習慣が少しずつついてきています。今後も、いつでも、どこでも、誰にでも、自分なりの方法で挨拶ができるよう、日々の様々な機会をとらえて実施したいと考えます。

(7) <ルールや約束を守る人>

学校生活や授業を通して、学び、考え、実践することで、
家庭、地域、社会生活でも力を発揮できるようにする

実現度の回答は、保護者は上がり、教職員は下がりました。「**児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している**」の項目においては、保護者は前期と比べてわずかながら上がりましたが、前期同様低い結果となりました。一方で、児童生徒アンケートでは「ルールや約束を守って行動している」の項目においては、前期 84.0%から後期 86.7%に上りました。

これらの結果から、学校での取組が、家庭や地域生活で少しずつ生かされ、児童生徒自身も実感しているのではないかと思われます。しかし、保護者は児童生徒が充分にルールや約束を守っているとは思っていないことがわかりました。ルールや約束を守って行動する力は、家庭、地域、社会で生活する上で将来的にも大切であると考えます。今後も学校生活や授業を通して、自分はどのように行動するのが良いのかを学び、考え、実践を積み重ねることで、学校以外でも同じように力を発揮できることを目指します。

(8) <全体に関するこ>

児童生徒の「健康や安全を守る」、「児童生徒を愛し、人権を大切にする」、
「熱意をもって指導や支援をする」ために、教職員の資質能力・専門性向上に努める。
学校は児童生徒に寄り添い、学習や児童生徒の様子を保護者に詳しく伝えて共有する。

実現度の回答は保護者・教職員共に下がりました。「**学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている**」の項目において、保護者の「わからない」という回答が前期・後期共に7%台でした。また、「**学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている**」の項目において、各学部の保護者回答は、横ばいまたは下がっていました。1月・2月の授業参観が中止となり、学校での様子を直接見ていただく機会が減ったことも要因の一つかと思います。今後も引き続き、ホームページ等を活用し、学校の様子や児童生徒の活動状況などを家庭と共有できるよう取り組んでいきます。

児童生徒アンケートでは「学校に行くことが楽しい」の項目において、前期より下がりました。マスクの着用、人との距離感、授業内容の見直し等、私たちが思う以上に児童生徒には負担になっているのかもしれません。児童生徒の思いに寄り添い、少しの変化も見逃すことないようしていきたいと思います。また、地域の商店街とのコラボレーションなど、今だからこそできる、新しい発想による楽しい取組をたくさん取り入れていきたいと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました